

益城の
がまだしもん!

—vol.35—

おおたき み はる

大滝美晴さん

(辻の城団地)

「おにぎり」でボランティア

ボランティア高校生

「おにぎりはすごいんです。栄養があつて、材料代も安く、子どもでも簡単に作れて、何よりおいしい!」と、おにぎり愛を熱く語るのは、ボランティアに情熱を燃やす高校3年生、大滝美晴さんです。

大滝さんの初めてのボランティア活動は中学生のとき、人吉市での小学生との交流でした。熊本地震で車中泊などの苦労を経験した大滝さんは、令和2年7月豪雨の被災地で少しでも力になりたいとの思いで参加。「子どもたちが本当に喜んでくれて、私も温かい気持ちになりました」

ボランティアの魅力に引かれた大滝さんは、高校に進学後、ボランティア部に所属。さらに「まちサポ」にボランティアとして登録し、活動の場を精力的に広げました。

イベントの運営や司会、絵本の読み聞かせなど、さまざまな経験を重ねる中で、特に子ども食堂での活動は、「ボランティアはする人もされる

人も笑顔にするんだ」ということを深く実感したそうです。

おにぎりボランティアの誕生

昨年、大滝さんはアメリカ加州立モンタナ大学へ2週間留学し、そこでSDGsの目標「すべての人に健康と福祉を」をテーマに研究発表を行いました。子ども食堂での経験と大好物の「おにぎり」を結び付け、大滝さんが発表したアイデアは「誰でも参加できるおにぎりパーティー」でした。「発表は笑われましたが、絶対実現するぞと誓いました」今年3月には、子ども食堂で子どもたちと一緒におにぎりを作って食べるボランティアに初挑戦。4月には英会話教室の子どもたちとおにぎりパーティーを開催しました。目標は、再度アメリカに渡りおにぎりパーティーを実現することと意気込む大滝さん。「私が開催するおにぎりパーティーに来てください!一緒におしゃべりしながらおにぎりを楽しみましょう!」

下段写真左から
／防災イベント
(熊本市)で非常食
の餅を提供／は
なえみ食堂でおに
ぎりボランティア
(まちサポ提供)／
英会話教室でお
にぎりパーティー

